

出版部報告

(出版部長 井田 宗宏)

今年度、出版部では、主に「都中英研だより」、「都中英研会報」等の機関誌の発行を中心に活動を進めてきた。これまで発行してきた「全中英協だより」は、全英連、中学校部会に任されることになった。これらの機関誌は都中英研の活動内容を都内各中学校の英語科教員に知っていただくともに、情報交換の場とし、英語教員相互の連携を深め、都の中学校英語教育の一層の充実、発展のために役立たせることを目的としている。

配布先は都内の全中学校、教育関係諸機関等である。発行部数はそれぞれ2000部程になる。なお、部会は隔月に一回の割合で開き、係分担、編集、発送事務等をした。同時に出版部員の授業研究を深める場としても活用している。以下、機関誌の内容である。

・「都中英研だより」第51号発行（7月）

都中英研会長挨拶、中英研総会、講演内容報告、英語指導実践例、役員名簿、年間行事、中英研コミュニケーションテスト紹介等を掲載した。

・「都中英研だより」第52号発行（11月）

サマーワークショップ、都中英研授業研究会、英語科教員の研修について、東京教師道場、英語教員集中研修等について掲載した。

・「都中英研会報」第65号の発行（3月）

都中英研の年間の活動報告や英語教育活動全般のまとめとして発行した。内容は主に、英語教育関係所感、英語学芸会報告、都研修センター報告、各区活動状況、全英連報告、中英研事業報告、各部活動報告等である。

*この他、「総会」「英語学芸会」「研究部発表会」等の手伝い、記録等の協力をしてきた。

「全英連」は平成16年度から「中学校部会」「高校部会」という形を基本とする組織形態に改善され、それぞれの校種に応じた活動を保障するとともに、中学校と高等学校が実質的な意味で連携できるようにし、その活動が、定着しつつある。

これまで「全中英協」で積み上げてきた全国規模での活動実績やその機能を「全英連中学校部会」へ継承することにより、公立中学校英語の充実・発展を図ることとしたのである。出版部でも、この流れをくみながら、新たな活動に、意欲的に取り組むようにしてきた。

今年度を振り返ると、出版部では、広報や出版の活動を主としながらも、部員個々の研修を深めるために、定期考査問題も持ち寄り、情報交換を行うとともに、より良い問題作りに向けて意見交換を行った。また、実際の授業の様子をビデオに撮り、効果的な授業の展開方法について、研鑽を重ねてきた。

次年度に向けて、さらに充実した活動ができるよう、改善を図っていきたい。

年間活動報告

4月・組織編成

5月・「中英研総会」記録

(5月18日、場所：神楽坂エミール)
懇親会参加

- ・第1回出版部会「年間活動計画(案)」
検討(5月29日、文京区立第十中
学校)

6月・「都中英研だより」第51号作成編集、
印刷発注、校正

- ・第2回出版部会「都中英研だより」
第51号発送

(6月26日、文京区立第十中学校)

7月・全英連中学部会参加

(7月27日、場所：神楽坂エミール)
講演「中学校英語教育における現在
の課題とこれから」

文科省 平田 和人先生

11月・「都中英研だより」第52号作成始、
編集、印刷発注、校正

- ・第3回出版部会「都中英研だより」
第52号発送

(11月9日、文京区立第十中学校)

- ・「中英研会報」第65号原稿依頼

12月・「英語学芸会」協力

2月・「中英研研究部発表会」協力

- ・「中英研会報」第65号作成編集、印
刷発注、校正

- ・第4回出版部会「中英研会報」
第65号発送

(2月26日、文京区立第十中学校)

- ・今年度の反省、来年度へ向けての意
見交換等

今年度、役割分担を以下の通り行い活動
を進めてきた。

- ・第51号「都中英研だより」

平林 澄子(練馬区立中村中学校)

今本由美子(練馬区立大泉中学校)

三岡 一隆(練馬区立石神井西中学校)

赤塚 貴音(練馬区立大泉第二中学校)

岡部 芳枝(文京区立文林中学校)

岡田 美保(江戸川区立瑞江中学校)

- ・第52号「都中英研だより」

小柳 守生(文京区立第十中学校)

渡辺 雅子(足立区立六月中学校)

中井 正弘(東久留米市立中央中学校)

下路 博朗(足立区立第四中学校)

田中 典子(足立区立江北中学校)

鈴木 咲子(東久留米市立大門中学校)